

《第4回 ICD特別賞受賞者》

ICDは唯一無二の存在である

ICDフェロー

松 尾 通



●抄 録●

ICDに入会して40年、2025年は自分にとって節目の年です。今般ICD特別賞を受賞し、歯科医師人生の記念すべき年になりました。ICDフェローの皆様に心から感謝の念を伝えたいと存じます。ありがとうございました。

いま社会の変化は激しく、組織から個の時代へと移りつつあります。こうした中でICDはどの方向へ進むのか？ なかなかの難儀です。しかしICDは唯一無二の学会として、その存在価値を発揮して欲しいと期待を致します。

キーワード：会員歴40年、特別賞受賞、組織から個へ、オンリーワンの学会

ICDフェローの皆様にご挨拶を申し上げます。

この度ICD特別賞を受賞しました。受賞とはあまり縁がないだけに、とても嬉しく思いました。

2025年は、ICDに入会して40年の節目の年でもあり、自分の歯科医師人生の良き記念日となりました。ありがとうございました。

ICD日本部会に入会したのは、1985年のことでした。推薦者は一ツ子邦泰先生、桜井善忠先生の両先生です。

同じような組織にPFA（ピエール・フォーシャル・アカデミー）があります。ICD入会時にPFAの会員でしたが、両会は現在より親しい関係にあり、両方の会員である先生も珍しくなく、自分もしばらくは2つの組織を行き来していました。

ICD入会の動機のひとつに国際性がありました。

1963年、日本歯科大学を卒業しましたが、留学をしたいと思っていました。しかし経済的にそれは果せず、いつかは米国へという思いを持ち続けていました。

米国へ足繫く通い出したのは、1980年代です。特に審美系の学会に出入りし、ニューヨークのDr.スマイ

ゲル（ASDA会長）との出会いもあり、審美歯科が自分のライフワークになりました。

1988年には、日本歯科審美学会ファウンダーの一人として、設立に関与することになりました。米国を始め、海外で会った歯科医師のなかにICDのフェローを散見し、親しく交流が出来たのも、ICDのバッジのおかげです。

現在のICDを見る時、入会当時のステイタスや輝きはかなり失せたものの、保守的、閉鎖的な面はかなり改善されました。反面、ICDの求心力と言いますか、会の持つ魅力もまた減少しているように見えます。

人々の価値観が多様化し、組織から個人の時代へと移るなか、組織運営は容易なことではありません。

ICDもいま曲がり角に来ている様に思います。

それでも尚、ICDは必要であり、縁ある人達が集い、友情を育むと共に社会貢献を更に伸ばせばオンリーワンの組織として、心ある歯科医師たちが集うでしょう。

ICD特別賞受賞を機に、思いのままを書きました。ありがとうございました。

ICD as a Unique and Irreplaceable Presence

Toru MATSUO, D.D.S., F.I.C.D.

In 2025, I will celebrate my 40th year of membership in the ICD, marking a significant milestone in my professional life. Being a recipient of the ICD Special Award this year has made this a particularly memorable milestone in my career as a dentist, and I would like to extend my heartfelt gratitude to all ICD fellows.

Today's society is undergoing rapid transformations, shifting from an era centered on organizations to one that increasingly values the individual. In this context, the following question arises: in which direction should the ICD move forward? This is by no means an easy matter. Nevertheless, I sincerely hope that the ICD will continue to demonstrate its value as a truly unique and irreplaceable academic society.

Key words : 40 years of Membership, Special Award, From Organization to Individual, Unique Academic Society